



吉崎別院便り

バラバラでいっしょ！

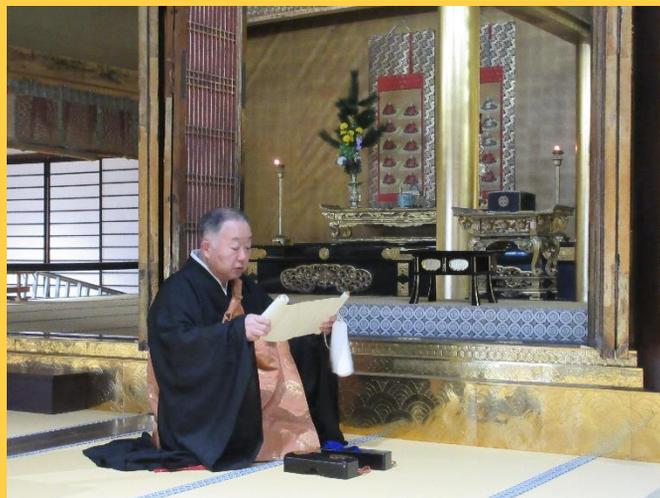
になれるところ

毎月25の日は、吉崎別院「二十五日講」
「上人の恩徳忘れがたく、講を結びて」

10月25日、「二十五日講」が勤められ、お同行10名がお参りをされました。この「二十五日講」とは、蓮如上人のご命日（一四九九年三月二十五日）の月命日として、毎月欠かさことなく大切に勤められているお講です。

勤行後に拝読される『ご消息』には、「上人の恩徳忘れがたく、講を結びて二十五日講と称し、今に到るまで五百年の久しきにわたりて」とあり、このお講が永きに亘り、ねんごろに相続されてきたことを知ることができます。

二十五日講の日は、お斎（昼食）も無料で用意されますので、是非ともお誘い合わせのうえ、遠近問わずお参りいただけますようご案内いたします。



上 辻森輪番による『ご消息』の拝読
下 福井教区教導会・平等良香師法話



四、六、七、十一月の二十五日講は、法要名が変わります。詳しくは、ホームページ内「主な定例行事」をご確認ください。



再任の谷口敏会長



総会の様子

谷口敏会長、再び先頭に立ち 【蓮如上人御影道中協力会総会】

10月24日、蓮如上人御影道中を組織的にサポートする「蓮如上人御影道中協力会」の総会が開催され、全国の会員の中から約20名が参加をしました。

この協力会とは、御影道中が安全に並びに円滑に行われることを願いに組織されたもので、会員総数は全国各地の約100名で構成されています。

総会では、協力会役員任期満了に伴う人事の選定などが議題となり、会長には、谷口敏氏（石川県・小松市）の再任が満場一致で承認されました。谷口氏は「たいへん僣越ながら、再び会長の職を務めさせていただきます。

御影道中の伝統と歴史を大切にしつつ、御仏事として発展しますよう力を尽くしてまいります。」と力強く語ってくださいました。